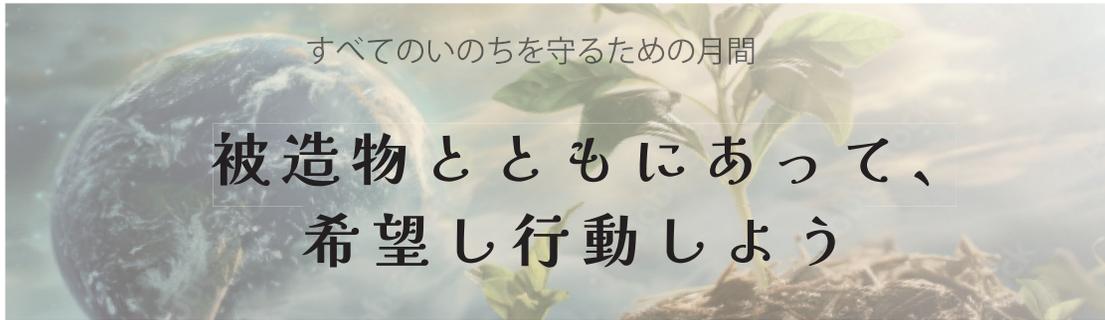


病者・障がい者と
ともに歩むミサ

9月23日(月・祝) 14時
司式：前田万葉大司教

ミサは You Tube 同時配信
(手話通訳・字幕表示)
交流会は Zoom 配信予定



9
2024

発行所
大阪府中央区玉造2-24-22
カトリック大阪高松大司教区
広報委員会
郵便番号 540-0004
TEL (06) 6941-9700(代表)
TEL (06) 6946-3223(直通)
FAX (06) 6946-3224(直通)
E-mail: jho@osaka.catholic.jp
編集 広報委員会
発行人 前田万葉

本紙
「点訳版」「音訳」
あります。〈無料〉
※ご希望の場合は
下記まで申込み
「点訳版(点字本)」
教区報 ☎06-6946-3223(直通)
☎06-6946-3224(直通)
「音訳(テープ・デジ)」
山口さん ☎0798-34-4228

☆☆☆☆ 阪神地区合同聖式 今治教会聖式 (2面) ☆ 2023年度(旧)高松教区 会計報告 (5面)
☆☆☆☆ 司牧者からの一冊 ☆ 高松石近祭(小豆島教会) (6面)
☆☆☆☆ 八幡浜教会増築工事完了 ☆ 聞かせてください(神様と出会った時のこと) (7面)
☆☆☆☆ 日本司教団からの具体的回答 (4面) ☆ カテキズムの学び
広報委員会へのEメールアドレス = kyokuhou@ostk.catholic.jp

ひとりで悩まないで
~私たちに聴かせてください~
カトリック大阪高松大司教区
ハラスメント相談窓口
※委員会はハラスメント全般を視野に
入れることになりました。そのため、
名称変更します。
電話番号:06-6941-9718
相談窓口受付時間
月・火・金曜日(祝日を除く)
午前10時~午後4時
あなたの悩みを親身になって受け止めます。
秘密は必ず守られます。

すべてのいのちを守るための月間

被造物とともにあって、 希望し行動しよう

2024年すべてのいのちを守るための月間 能登半島地震 被災地訪問

7月26日~28日にかけて、前田万葉大司教は2024年1月1日に発生した令和六年能登半島地震の被災地に慰問のために訪れた。

輪島市内では、火災により全焼した朝市通りや、いまだ建物が崩れたままの地の幼稚園のホールでミサをささげている。この日は、輪島市で生活をするフィリピンコミュニティの人たちとも被災地の早期復旧と亡くなられた方の永遠の安息を願ってミサがささげられた。ミサの終わりに、「すべてのいのちを守るための基金」からの支援金が司教よりカリタスのサポートセンター担当司祭の片岡義博神父に手渡された。また、大司教の慰問に合わせて大阪梅田教会から輪島教会のフィリピンコミュニティへ物資支援として、フィリピンの調味料やココナッツジュースなどが届けられた。



すべてのいのちを守るための月間で集められた献金からの支援金

域、海底が隆起した珠洲市に近い名舟町の海岸線を視察した。土砂崩れの処理も終わっていないことから、名舟町に行く道路は隆起した海底の上に仮設道路を整備し車が通ることができるようになっていた。輪島市にはカトリック輪島教会があるが、被災し全壊の判定を受けて解体することが決まっている。教会の信徒は、隣

(文 災害対策委員会)

教区宣教司牧評議会 聖年に向けて

大阪高松教区として初の教区宣教司牧評議会が6月30日、オンライン会議形式で行われた。オンライン会議には技術的困難を伴う事があるが、それらを乗り越えて一堂に会するべく尽力して下さった全ての方々に感謝が尽きない。

シノドスを基に

本会議は聖書朗読を伴う祈りから始まり、現在進行中のシノドスに沿って『新教区となった今、どのようにシノドスの教会をつくっていくか』をテーマに意見交換を行った。先立ってローマで行われた「世界の小教区司祭のシノドス」に参加された高山徹神父の報告を聞き、シノドスを通して得られる実りの豊かさを味わった後、グループに別れて「霊における会話」の形式で分かち合いを行った。幅広く取り上げられた課題に対して、互いにより多くの交わりを持つ事の大切さ、そのための技術的利用促進、急がずにと向き合う過程にしっかりと向き合

う事必要性といった意見が挙げられた。本来のものより短い時間しか確保できなかったものの、祈りのうちに私という視点からの声を聞き合い、他者から自身に響いた声を共有し、そして私たちとしての声をまとめていく「霊における会話」は、主と共に支え合う私たちをより豊かに築き上げる手法の一つであると感じている。

カトリック大阪高松大司教区 典礼研修会
しゅんひせき しんじんぎょう
准秘跡と信心業
祝福、奉献、祓魔式、葬儀、ロザリオ など
講師：酒井俊弘 司教
2024年10月27日(日曜日)14時~
事前申し込み不要
教会の典礼委員さんでなくても
どなたでもご参加になれます
みんな来てね!!
さくらファミリー
(カトリック大阪梅田教会) 聖堂にて
主催：カトリック大阪高松大司教区 典礼委員会



①輪島教会内部 ②名舟町(海岸) ③フィリピンコミュニティ物資支援



参加した評議員をオンラインで繋ぎ、初の評議会が開催された

外国人が暮らしやすい社会をめざして!
各国料理の出店・歌や踊りのステージ
INTERNATIONAL DAY
2024
~外国人が暮らしやすい社会は 日本人にも暮らしやすい~
A society where foreign residents can live easily is also a society where Japanese people can live easily.
10.20 Sun 12:30~16:00
カテドラル駐車場
Catholic Tamatsukuri Church Parking Area
午前中: 各教派で礼拝
主催: カトリック大阪高松大司教区
問合せ: カトリック大阪高松大司教区
INTERNATIONAL DAY 準備会事務局
Information: INTERNATIONAL DAY Preparation Committee
TEL:06-6942-1784 / FAX:06-6920-2203
Email:isinpia@ostk.catholic.jp
※共催: 外国人との共生をめざす関西キリスト教代表者会議
外国人との共生をめざす関西キリスト教連絡協議会
※後援: 外国人住民基本法の制定を促す関西キリスト教連絡協議会
※公式: ステージ申込み締切 9/23(月・祝)
NO Parking 駐車場はありません

芦屋教会・甲子園教会・尼崎教会 合同堅信式 聖霊に導かれて

6月30日、酒井俊弘補佐司教と川邨裕明神父(芦屋教会主任)の共同司式により合同堅信式が執り行われた。約120人の参列者に見守られる中、芦屋教会4人・甲子園教会4人・尼崎教会1人、併せて9人が堅信の秘跡を授かった。

酒井司教は「洗礼を受け、人は水と聖霊によって『新しいいのち』を受け、その上に今日は堅信という秘跡でそれを強められます。本当に信仰があれば、生き方が変わってきます。それは『新しいいのちに生きる』ということですよ」と指摘された。そして今日の第二朗読の聖書に基づき「堅信を受けてへおとなの信者」にな

るといのは、『他人の欠乏を補う』生き方ができるといふこと」と説かれ、「自分の利益とか自分の得とか自分の家族だけではなく、ほんとうに広い心を持って祈ることも、わたしたちに求められているのでしょ」と、受堅者・代父母や参列者に向けて導きのことばを述べられた。

【主催者の感想】
「実行委員会方式で有志を募り、役割分担して、担当チームごとに互いに協力しながら準備に取り組みることができた。ただ、全体の統括やチーム間での情報共有が行き届かず、また細かい「詰め」に不備があったことは、反省している。
酒井司教には計画・準備の始めから当日の「祝賀会」時まで、いろいろとお心遣いをいただき、感謝しています。

【受堅者の感想】
教会スタッフの皆様のお陰で素晴らしい堅信式を受けることができたことを感謝いたします。酒井司教様のお話にもあったように、堅信式を出発点と捉え、気持ち新たに信仰を更に深めて参りたいと思います。厳粛な雰囲気の中で、改めて神様の御心に沿った生き方をしよう!と決心させてくれる式でした。
(文 甲子園教会 工藤登紀子)



授けと聖香油をもって聖霊とその贈り物を豊かに受ける受堅者

教会紹介



0797-221-3982

守護 イエスの聖心

設立年月日 1945年 秋

信徒数 852人

ホームページ

教会の特色と特徴

芦屋川の明るい風景に映える聖堂は「芦屋のランドマーク」と呼ばれ、市の「景観重要建造物」にも指定されています。長谷部鋭吉氏の設計になり、高松・桜町教会とは姉妹のような聖堂です。堂内には「イエスの聖心」像、聖堂下の西正面にはマリア像が立ち、訪れる人を迎えています。

おすすめのお店

『アンリ・シャルパンティエ 芦屋本店』(洋菓子・喫茶)、『ローゲンマイヤー』(パン) など、芦屋を地元とする有名店が、教会のすぐ南、阪神芦屋駅付近。
『GYOZA OHSHO』は、「王将」の芦屋版。
『パンの』ピゴの店 芦屋本店 国道2号線沿い。



前田大司教によって塗油と霊印を受け洗礼の秘跡を完成された受堅者

教会紹介



0898-321-2348

守護 ピラルルの聖母

設立年月日 1926年

信徒数 173人

ホームページ

教会の特色と特徴

カトリック今治教会は2026年に100周年を迎えます。2017年には新教会の献堂式が行われ、「すべての民の祈りの家」をめざして宣教を続けております。1972年にスペイン・サラゴザ市より贈られた「ピラルルの聖母像」に見守られた聖堂で、静かな祈りの時を過ごすことができます。英語とベトナム語ミサもあり、主日の日本語ミサにおいては、外国の方が母国語で第二朗読や共同祈願を行うなど、国際豊かな教会です。

今治教会 堅信式

堅信の秘跡からの恵み

7月14日、今治教会のミサにおける堅信式で、トマス・アクィナス前田万葉大司教より、5人の兄弟姉妹とともに堅信の秘跡を授かった。

【受堅者の感想】

フィリピン、ベトナム、日本等、さまざまな国籍の方々がミサに臨まれ、国際色に満ちた式であった。ミサ中に流れる各国の聖歌を聴きながら、言葉の意味は分からずとも、言葉と旋律の融合によって、人と人との心を繋ぐ歌ということによって祈りをささげることが、神様が作られた尊い行為であることを感じ、たいへん感動した。

大司教より、「お互いに仕え合ってはじめて幸せは成される。一人では無理である」というお言葉をいただきました。教会に関わる方々が献身的に互いに支え合い教会に奉仕され、祈りを捧げる姿によって、自分がこれまでいかに自分中心で生きていたのかを気付かされました。堅信の秘跡をいただいた今、これからはいただいた恵みをまわりの方々のためにささげ、神様の子として神様にお仕えし、自分の使命を果たしていきたいと思っています。堅信に関わっていただいた多くの方々に感謝いたします。ありがとうございました。
(文 重越 英恵)

【プロフィール】

川上栄治神父 (ドミニコ会)



- 1999年 聖ドミニコ修道会入会、聖アントニオ神学院入学
- 2006年 聖ドミニコ修道会にて司祭叙階 聖アントニオ神学院卒業
- 2006～9年 ローマの聖トマス大学 (通称 Angelicum) で教理の修士課程を学び、取得
- 2009～10年 日本に帰国し、愛媛県の協力司祭として働く
- 2010年4月～13年3月 道後教会
- 2013年4月～14年3月 今治教会
- 2013年4月～愛光学園非常勤講師
- 2014年4月～道後教会
- 2018年4月～20年3月、21年4月～23年1月 松山教会
- 2018年4月～愛媛地区地区長



『それでも人生にイエスと言う』(V・E・フランクル著、山田邦男/松田美佳訳、春秋社、税込1,870円)

川上栄治神父からこの一冊

教区内の司祭が記憶に残る、また心に残った書籍を司祭紹介を兼ねて掲載。今回は、川上栄治神父が担当。



わたしがこの本に出会ったのは、愛光学園の非常勤講師として働き始めた時、年に一回学校で本の紹介をするために買った時です。ですから、わたしはこの本をずっと愛読していたわけではありませんが、学生時代から心理学に興味を持っていて、特にフランクフルトはナチスの強制収容所を生き延びた有名な心理学者であり、機会があれば読んでみたいと思っていました。そこで読んでみたところ、この本はわたしが期待していた以上のものを与えてくれました。

わたしたちは生きていく以上、「わたしは人生に何を期待できるのか」と問いかけることが多いでしょう。けれども、フランクフルトは「人生はわたしに何を期待しているか」と問うことが大事だと言います。それはわたしたち一人ひとりが「自分の人生から問いかけられており、わたしたちがその問いかけに答え続ける

必要があるのだ」ということです。この問いをカトリック司祭の立場からすれば、「神はわたしに何を期待しているのか」と言い換えることができます。これは非常に重い問いです。わたしは司祭として、この問いへの答えを探し続けながら、司祭としての道を歩み続けたいと思います。

次回は高山徹神父(教区司祭)です。

八幡浜教会増築なる

カトリック八幡浜教会



2024年8月1日、増築は完了。正面上部の窓には聖家族像を配する

2020年5月に園舎裏手に建てられた、20席のみの小建物が小教区聖堂であったが、ベトナム人技能実習生の熱心な参加で共同体は活気を帯び、20席では手狭となった。降誕祭ミサではベトナム人やフィリピン人の参加で50人の参加者となり、園舎を借りて行われた。2023年から担当の使徒ヨハネ諏訪祭治郎名誉司教は、増築の提案をされ、バチカン大使館から増築への祝儀もいただき、8月1日に増築が完了して、30席の信者席となった。保護の聖人「聖家族」像が強化ガラス越しに園児の登降園を見守り、屋根上には園と揃いの白十字架が空に映える。これはドミニコ会からのプレゼントである。創立から84年、日本人信者が少なくなり、一時は小教区閉鎖の心配もされたが、外国青年たちとの新たな共同体が築かれ、小さいながらも増築という恵みに浴した。人の目には不思議なことに見えることでも、ラウダー・シの「希望」は見いだしていくところに、はつきりと示されるのかもしれない。

2020年5月に園舎裏手に建てられた、20席のみの小建物が小教区聖堂であったが、ベトナム人技能実習生の熱心な参加で共同体は活気を帯び、20席では手狭となった。降誕祭ミサではベトナム人やフィリピン人の参加で50人の参加者となり、園舎を借りて行われた。2023年から担当の使徒ヨハネ諏訪祭治郎名誉司教は、増築の提案をされ、バチカン大使館から増築への祝儀もいただき、8月1日に増築が完了して、30席の信者席となった。保護の聖人「聖家族」像が強化ガラス越しに園児の登降園を見守り、屋根上には園と揃いの白十字架が空に映える。これはドミニコ会からのプレゼントである。創立から84年、日本人信者が少なくなり、一時は小教区閉鎖の心配もされたが、外国青年たちとの新たな共同体が築かれ、小さいながらも増築という恵みに浴した。人の目には不思議なことでも、ラウダー・シの「希望」は見いだしていくところに、はつきりと示されるのかもしれない。



前建物外壁が耐震補強材(白い柱等)で残り、その後方が増築部分



聖家族像が見守る

八幡浜港に道の駅「みなと」。毎年開催のマーメイド世界大会の入賞マーメイドの販売。石窯のパンやピザなどがイトイン可能。隣接の魚市場では生鮮魚、鮮魚が入手可能。みかん産地ならではの柑橘や高級柑橘ジュースが年中販売。

◆おすすめの店

九州への航路や造船所がある八幡浜港から徒歩15分の「船員のための教会」。初代聖堂は、1950年9月に「聖家族」を保護の聖人とし、内部は木造アーチの美しい聖堂が献堂された。2019年に幼稚園の耐震強化に伴い壊され、園裏手に20席の小聖堂が再建。創立時の祭壇、十字架など面影を随所に残した、再建時に東京「工房」製の十字架のステンドグラスを新規に設置。平日は閉鎖され、訪問には事前の連絡が必要。

◆特色

- ◆住所 愛媛県八幡浜市大正町1982-7 (宇和島教会へ転送)
- ◆守護 聖家族
- ◆設立年月日 1937年6月1日
- ◆信徒数 28人
- ◆ホームページ



教会紹介

0895-24-4850

すべてのいのちを守るための月間 大阪高松教区献金報告



日本の司教団は、日本訪問で教皇フランシスコが発信されたメッセージに応えるため2020年から毎年9月1日～10月4日までを「すべてのいのちを守るための月間」とすることとしました。この月間の間は、特に日本の教会全体で、すべてのいのちを守るという意識と自覚を深め、地域社会の人びと、とくに若者たちとともに、それを具体的な行動に移す努力が求められています。そこで教区では独自に、すべてのいのちを守るために募金を集め、支援が必要となるすぐにお届けできるように「すべてのいのちを守るための基金」を2021年からスタートしました。

2023年度の献金は3,189,814円でした。2023年7月に起きた秋田豪雨災害への支援をはじめ、「核なき世界基金」「パレスチナ子どものキャンペーン」「このとりのゆりかご in 関西」など、2,378,600円を基金の目的に合った団体に寄付を行いました。

「被造物とともにあって、希望し行動しよう」

教皇フランシスコは、今年の被造物を大切に世界祈願日のメッセージ、「被造物とともにあって、希望し行動しよう」の中で、来年祝われる聖年を踏まえ、困難に直面していても希望をもって、謙虚に、ともに歩みを進めるよう招きます。

「被造物とともにあって、希望し行動するという事は、まず第一に力を合わせることであり、善意あるすべての人とともに歩みつつ、『人間の力という問題を、その意味と限界を、あらためて問い直す』べく尽くすことです。

生かされている――

皆さんは、こんな思いが心の底から湧き上がってくるのが最近ありましたか。自分で生まれてきたわけでも、自分だけで生きているわけでもなく、さまざまつながりの中で今自分が生かされている、ということは考えてみれば当たり前のことですが、それを実感として深く感じることはありませんか。

「地上での生活の中でイエスは、好意と驚きに満ちたまなごしをもって自然に触れ、神の被造物への優しい養いについて語ります。『空の鳥をよく見なさい。種も蒔(ま)かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる』(マタイ6・26) (日本カトリック司教団『見よ、それはきわめてよかった――総合的なエコロジーへの招き』51)。

イエスのセンス・オブ・ワンダー、驚きに満ちたまなごしは、わたしたちが総合的な(インテグラル)エコロジー、すなわち神と、他者と、自然と、そして自分自身と調和して生きる道筋を示しています。今年のすべてのいのちを守るための月間の間、イエスの驚きに満ちたまなごしで自分を取り巻くいのちのつながりに目を向けてみませんか。

今年の7月、日本の司教団は23年ぶりとなる司教団文書、『見よ、それはきわめてよかった――総合的な(インテグラル)エコロジーへの招き』を発表しました。すべてのいのちを守るための取り組みに招くこの本を、ぜひこの月間にお読みいただけたらと思います。その一節を引用し、皆様と呼びかけます。

「ともに暮らす家を大切に生活をし、地球のケアにつながる取り組みを展開している大勢の地球市民が、今も活動し続けています。そうした人々とともに、また、そうした人々に導かれながら、いつくしみとまことにあふれる創造主の心に思いを馳せつつ、忍耐と希望のうちに、『すべてのいのちを守る』旅をともにできるなら、どれほど喜ばしいことでしょうか」(45)。

2024年8月6日 主の変容の祝日
「ラウダート・シ」デスク
責任司教 成井大介

参考：カトリック中央協議会より

教皇フランシスコ 2024年9月1日
「被造物を大切に世界祈願日」メッセージ



日本の教会が目指している「ともに歩む」教会の特徴は、シノドスの教会に向けての個別具体的な問題について考える以上に『考察する方法』、つまりシノドスの方法』にあると書いています。いろいろな問題は解決されるべきですが、その際重要なのは、解決そのもの以上に「解決に向かうあり方」つまり『シノドス的方法の根付き』にあるということです。教皇フランシスコの指摘は、解決へ向かう教会の特徴「霊における会話」にあることを明瞭に

意識した記述です。コロナの蔓延によって薄れつつあった「交わり」を「ともに歩む」教会を再び作り上げるには「霊における会話」は必要不可欠であるとの共通認識を司教団は共有したということです。日本の教会が「霊における会話」に取り組むことこそ、今後の方向であると確認したわけですが、そのための取り組みとして、次の3点を報告しています。 ※詳細は本紙4月号に記載

- ①シノドスの教会を紹介する「シノドスハンドブック」を発行し配布している。
- ②日本のシノドスの集いの開催 (これは今年の3月に実施されました)。
- ③各教区は、シノドスの教会となるために、教区で「霊における会話」を実行した。

※カトリック中央協議会ホームページサイト▷▷▷

※報告の最後のところで、「霊における会話」のいくつかの課題が指摘されています。

新福音化委員会より 世界代表司教会議第2会期へ向けて 日本司教団からの具体的回答

この10月にバチカンで行われる世界代表司教会議第2会期への日本司教団からの回答「シノドスの教会を目指して」日本のカトリック教会の挑戦」の主要な点を紹介します。



◆ 祈り ◆

参加者は、沈黙の中で祈ったことをグループに提示します。これは斬新なことですから、お互いの祈りを尊重し合う「信仰のセンス」を深める必要がある。

◆ ダイナミックな共同体 ◆

グループでの祈りの分かち合いから、聖霊が共同体に働くことを実感するように各自が成長する。信仰が個人的なものである以上に、共同体とともにあるという理解の浸透。

◆ 聖職者たち ◆

シノドスの教会は、「ともに歩む」教会であるので、司祭たちの関わりは極めて

◆ 共同識別 ◆

「霊における会話」の最終段階である「ともに考え、祈り、判断する(共同識別)」は難しいので、「霊における会話」を繰り返し体験して積み上げていくことが求められます。

◆ 目的 ◆

教会共同体の司牧指針を作成していくために、「霊における会話」は必要です。教会のあらゆる団体にも必要なものであり、それらの団体も活動指針を「霊における会話」によって作成してください。(シノドスチーム 吉村信夫)

日本カトリック司教団 見よ、それはきわめてよかった

―― 総合的な(インテグラル)エコロジーへの招き ―

●●● 出版記念シンポジウム ●●●

日時：2024年9月14日(土) 14:00~17:00
会場：サクラファミリア聖堂
(カトリック大阪梅田教会)

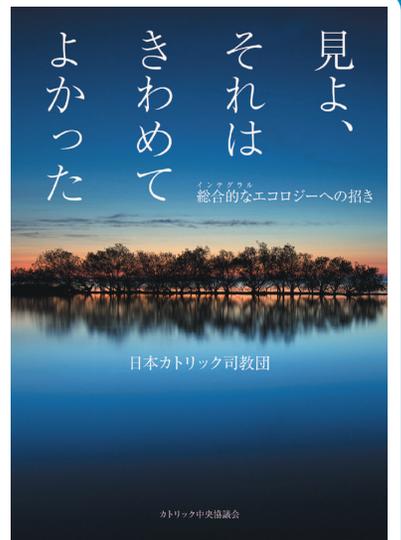
第一部
概要の紹介と説明
瀬本正之神父(イエズス会)

第二部
パネルディスカッション
前田万葉枢機卿/大塚喜直司教/松浦悟郎司教
酒井俊弘司教/瀬本正之神父 他

主催：大阪高松教会管区 著者：日本カトリック司教団

★当日、書籍販売があります。

★当日の様子は大阪高松大司教区公式サイト内のYouTubeチャンネルからご覧いただけます。



高山右近祭



神の存在を証しするために

7月7日は天候にも恵まれ、教区や香川地区や信徒、四国学院大学などからも多くのみなさんが参加された。



高山右近列聖祈願ミサ 小豆島教会聖堂

列聖祈願ミサで、酒井俊弘補佐司教は、主日のみことばから「派遣」というテーマで話された。神からの思召しで派遣されても、必ずしも相手先から歓迎されるとは限らない。しかし、高山右近の生涯を重ねてみると、彼を受け入れてくれる友もいた。何より私たちが一人ひとりが神からそれぞれの家庭や地域に派遣され、神の存在を証しする使命を与えられているのだと伺った時「ああ、そうなんだあ」と深くうなずいた。

ミサの後は、故・溝部佑司教の講和『茶の湯と黙想』（高山右近没後400年）のビデオ鑑賞と親睦会を閉じた。特に今年の右近祭では、10年ほど前に東讃西讃のブロックに別れていた香川県の教会が4月から再び香川地区となつてから、信徒がともにミサにあがり、親睦できる機会になり、小豆島教会の皆にとっても大きな喜びとなった。
(小豆島教会 信徒)

小豆島教会紹介

◆守護・幼きイエスの聖テレジア

- ◆香川県小豆郡土庄町 湊崎甲1430・3
- ◆087-831-17760 (連絡は四国カトリック会館)
- ◆信徒数・56人
- ◆設立年・1945年

《教会の特色と特徴》

教会の門を入ると、高山右近像がみなさまをお迎えし、巡礼者が「かわいい!」と呟かれた聖堂を入ると、色とりどりのステンドグラスが目に入ります。側壁には、解体修理を終えたばかりのイギリス製のパイプオルガンが佇み、賛美の音色で包んでくれます。信徒は、何しろ明るく元気が取り柄です。



左：小豆島教会外観と高山右近像
右：かわいらしいパイプオルガン



※おすすめのお店

- ・島活 (和食・昼、夜共に要予約・ランチも人気です)
- ・ますや (昼はうどん、夜は要予約で寿司など)
- ・暦 (創作郷土料理・昼、夜共に要予約 *ランチも人気です)
- ・まめまめびーる (土日祝の夕方からは坂手港近くに屋台も出店)

鳴門教会紹介

◆守護・聖ヨゼフ

- ◆徳島県鳴門市撫養町黒崎字松島 208
- ◆088-6866-2774
- ◆信徒数・180人
- ◆設立年・1954年
- ◆ホームページ

《教会の特色と特徴》

私たちは小さな共同体ですが、私たちの聖堂の壁一面が納骨堂になっていて先人たちともに祈りを捧げています。横長の聖堂で祭壇を囲んでのミサは山上の垂訓を想起します。

※おすすめのお店

特におすすめはありませんが、地域柄、海鮮系の店は外れなしです。特産物のスタヂや鳴門金時(さつま芋)レンコンなどなどを購入したり、食事もできる「くるくる鳴門」まで車で10分です。



鳴門教会外観

硫黄隆二、乾盛夫、両神父様 司祭叙階60周年に寄せて



お祝いの霊的花束に笑みがこぼれる

硫黄神父様と初めてお会いしたのは高知の赤岡教会で出迎えてくださった時の屈託のない「笑顔」が脳裏に焼き付き、その様は映画「穢れなき悪戯」での修道司祭が醸し出す「安心感」の塊りが硫黄神父様の第一印象でした。

出会い

加えて、ある夕食作りの日、近所の八百屋や、魚屋さんに行くと、おっちゃんや、おばちゃんや、おに声をかけてくる。まさに地域に溶け込んだ宣教師です。

乾神父さんと古賀の教会で志願期の一年を一緒に過ごさせていただきました。

モンテッソーリ教育に 全身全霊を

この頃の神父さんは幼稚園とモンテッソーリ教育の普及に全霊を傾けておられ、幼稚園の務めから帰られて夕食を済ませると、今度は木工機械の中で幼稚園で使う木製の教材造りと、



手作りケーキをカットし喜びを分かち

たかが60年、されど60年、神様との共進成業の道をまだまだ、ばく進されますように!
司祭叙階60周年、おめでとうございます。ありがとうございます。そして、
(鳴門教会信徒 林 広)



「カテキズムの学び」

第53回 叙階の秘跡(その2)

*クラスは右のQRコードから



叙階の秘跡の学習の2回目、具体的な「授ける者」「受ける者」「効果」について学びました。叙階の秘跡を授けることができるのは司教だけです。

叙階の秘跡は使徒的役務の秘跡ですから、「霊的たまもの」、「使徒の種」を伝授する権限は、使徒たちの後継者である司教にあります。(1576番)

そして、受けることができるのは、洗礼を受けた男子のみ(1577番)で、終身助祭を除いて通常は独身者(1579番)です。教会法では、司祭職に予定されている者の助祭叙階は満23歳以降、かつ司祭叙階まで6か月間以上の中間期が必要で、また司祭叙階は満25歳以上、司教叙階は35歳以上かつ司祭叙階後5年以上と定められています。(378及び1031条)

叙階の秘跡の効果には「消えない霊印」と「聖霊の恵み」が挙げられています。

洗礼や堅信の場合と同様、このキリストの任務への参与はただ一度ゆるされるだけです。叙階の秘跡もまた、消えない霊印を与えるので、繰り返し受けることも、期限付きで授けることもできません。(1582番)

「消えない」わけですから、司祭職を解かれる(いわゆる還俗)ことがあっても、「当人は、厳密な意味では、もはや信徒の身分に戻ることはできません」(1583番)。この霊印を受けた者として、司祭は多くの恵みに支えられて司祭職を歩み続けます。カテキズムはナジアンズの聖グレゴリオの美しい言葉を引用しています。

他の人々を清める前に、まず自分自身が清められなければなりません。人に教えることができるためには、教えを身につけなければなりません。他の人々を照らすためにはまず自分自身が光となり、他の人々を神に近づけるためには自分が神に近づき、人々を聖化し、手を取って導き、賢明な助言を与えるためには、自分自身が聖化されていなければなりません(1589番)

叙階の秘跡を受けた者として心に刻んでおきたい言葉です。

(文 酒井俊弘補佐司教)

感動した私は、20歳で洗礼を受ける。国籍も民族も関係ない。キリストの洗礼を受けることによつて、キリストのもとになるのだと。しかし、洗礼を受けてからも私はまだ自分が韓

人であるとは言えず、その束縛から抜けられず悩んでいた。その頃、軍事政権下の韓国の光州で大規模な民主化運動が起き、多くの大学生が軍隊の武装鎮圧により命を落とした。同じ年代の学生たちが亡くなっていく中、自分が韓国籍であることも言えず、何もできない自分非常に苦しんだ。日本人にも韓国人にもなれない、自分はいったい何者なのか。

悩みながらも神様の導きで召命を感じた私は、神学校に入った。25歳の時初めて上智大学で聖書学を学び、聖書の奥深さを知る。特に旧約聖書の出エジプト記中の「モーセの召命(3・4・17)」の箇所が自分自身と重なった。エジプト人とヘブライ人のはざまにあつて自己のア

6月のお話より抜粋。サクラファミリアで毎月開催中

ユダヤ人であろうとギリシア人であろうと、皆一つの体(コリントの信徒への手紙一・12・13)である。パウロの手紙を読んでとても

命を感じた私は、神学校に入った。25歳の時初めて上智大学で聖書学を学び、聖書の奥深さを知る。特に旧約聖書の出エジプト記中の「モーセの召命(3・4・17)」の箇所が自分自身と重なった。エジプト人とヘブライ人のはざまにあつて自己のア

「私は何者でしょう」と神に問うモーセ。エジプト人からも拒否され、イスラエル人も同胞ではない。そんな自分がイスラエルの民を救い出すことなどとても無理だと、モーセは何度も使命から逃げ出そうとする。しかし、神は彼を決して見捨てない。自分を見出すことのできない、逃げてばかりいる情けないモーセを神は選んだ。モーセに自分らしく生きる喜びを与えようとしてであつて、なんとか使命を果たさせようとする。「あなたの存在意義は私とともにあること。私はある、だからあなたもあるのだ」と絶えず神は語りかける。これは、私に対する言葉に思えた。

自信のない私に、「いつも私がある。お前と一緒にいる。さあ行くがよい」と、神は語りかけてくださる。私の力ではなく、神がともにいてくださるから司祭となる。神は私を救うために私が「私である」ために司祭召命を与えてくださった。このみことばが、私の司祭召命のしるしだと思つていく。

自分の中の日韓国人という問題は、もう私の根っこではない。私の根っこはキリスト者であり、それが私のアイデンティティーである。逆に、マイノリティーとして差別される側に生まれたことを、今では感謝している。差別される苦しみを知り、神はいつも差別される側にいることを知った。そこからキリスト教に入り神父へと導かれた。在日韓国人に生まれたことは、私にとって大きな恵みなのである。

聞かせてください 神さまと出会った時のこと

〜エマオへの道で〜

第11回 林和則神父(香里教会)

在日韓国人の三世として生まれた。子どもにづらい思いはさせたくない、在日であること隠す家庭で育ったせい、中学生になつてはじめて自分が日本人ではないとわかった。気持ち揺れ動く中、学校でも韓国人であることを隠していた。在日であることが、私にとっては重荷であつた。

「私はある。あるという者だ」(出エジプト記3・14)

「私は何者でしょう」と神に問うモーセ。エジプト人からも拒否され、イスラエル人も同胞ではない。そんな自分がイスラエルの民を救い出すことなどとても無理だと、モーセは何度も使命から逃げ出そうとする。しかし、神は彼を決して見捨てない。自分を見出すことのできない、逃げてばかりいる情けないモーセを神は選んだ。モーセに自分らしく生きる喜びを与えようとしてであつて、なんとか使命を果たさせようとする。「あなたの存在意義は私とともにあること。私はある、だからあなたもあるのだ」と絶えず神は語りかける。これは、私に対する言葉に思えた。

あ行くがよい」と、神は語りかけてくださる。私の力ではなく、神がともにいてくださるから司祭となる。神は私を救うために私が「私である」ために司祭召命を与えてくださった。このみことばが、私の司祭召命のしるしだと思つていく。

自分の中の日韓国人という問題は、もう私の根っこではない。私の根っこはキリスト者であり、それが私のアイデンティティーである。逆に、マイノリティーとして差別される側に生まれたことを、今では感謝している。差別される苦しみを知り、神はいつも差別される側にいることを知った。そこからキリスト教に入り神父へと導かれた。在日韓国人に生まれたことは、私にとって大きな恵みなのである。

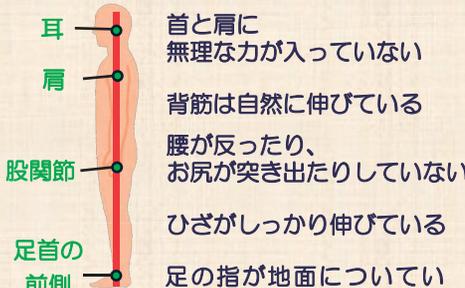
「私はある。あるという者だ」(出エジプト記3・14)

普段は気を付けていても、ふと気が付けば悪い姿勢になっていることしばしば。今回は「姿勢」のお話です。猫背や反り腰といった不良姿勢は、腰痛や肩こり、浅い眠り、食欲低下、便秘の要因と言われています。また、気持ちも落ち込みやすくなってしまいます。良い姿勢で心身の状態を整えましょう。

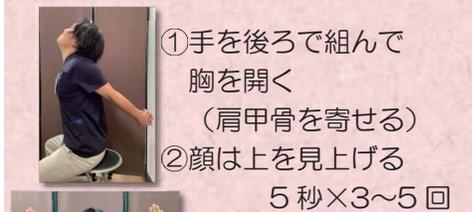


良い姿勢のポイント

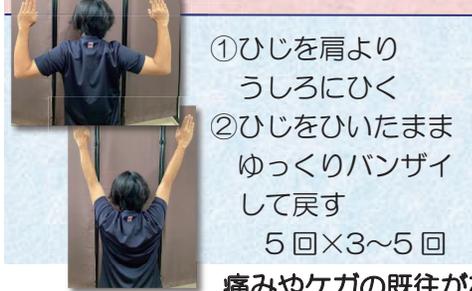
身体を横から見たときに、**耳-肩-股関節-足首の前側**が垂直線上にあることがポイントです。右図を見ながらご自身の姿勢をチェックしてみましょう。



猫背改善トレーニング



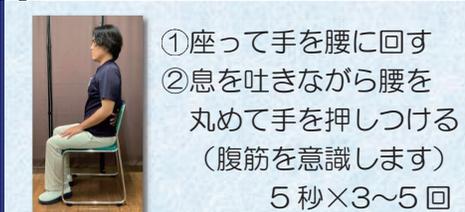
①手を後ろで組んで胸を開く(肩甲骨を寄せる)
②顔は上を見上げる
5秒×3~5回



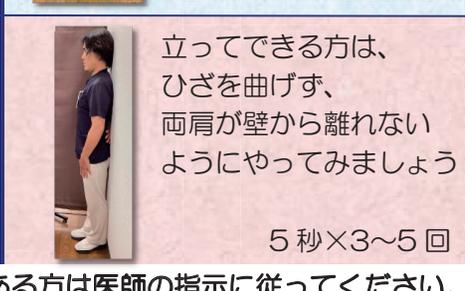
①ひじを肩よりうしろにひく
②ひじをひいたままゆっくりバンザイして戻す
5回×3~5回

痛みやケガの既往がある方は医師の指示に従ってください。

反り腰改善トレーニング



①座って手を腰に回す
②息を吐きながら腰を丸めて手を押しつける(腹筋を意識します)
5秒×3~5回



立ってできる方は、ひざを曲げず、両肩が壁から離れないようにやってみましょう
5秒×3~5回

医療法人ガラシア会 **G+ ガラシア病院** 生活習慣病、各種健康診断にも対応 〒562-8567 大阪府箕面市粟生間谷西6丁目14-1 TEL: 072-727-1866

訃報



Sr.ローザ岡田多恵子(シヨファイユの幼きイエズス修道会)は、8月3日、感染症のためドムスガラシアで帰天。兵庫県神戸市出身。94歳。奉獻生活68年。

の保育科の教諭として、更に東京の学生寮での学生同伴にも奉仕した。1998年から21年間大阪信愛修道院で、受付係として、また、釜ヶ崎の韓国人支援活動の受付係など社会活動にも意欲的に参加した。2019年から仁川本部修道院で療養生活に入り、20年11月にドムスガラシアに入り、姉妹たちと共に祈りと療養の日々を送っていたが、静かに御父の御許に旅立った。

カトリック墓地 納骨堂・納骨所 使用者募集

大阪高松教区の信者の方のみがお申込みいただけます。詳細は資料をお送りさせていただきます。ほかに、インターネットでもご覧いただけます。

資料請求やお問い合わせは 教区本部事務局 総務課 管理部門 ☎06-6941-9705

大阪のカトリック病院 ガラシア病院

特徴的な医療 ホスピス・糖尿病内科 リハビリ・神経内科 肝臓内科・循環器内科 医療法人ガラシア会 理事長 前田万葉 大司教 チャレン 松本信愛 神父

看護師 募集中

〒562-8567 箕面市粟生間谷西6-14-1 ☎072-729-2345

G+医療法人ガラシア会

来、見よ



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

教区委員会主催

信仰養成連続講座◆カテキズムの第2編「キリスト教の神秘を祝う」

日時 9/26(木) 18:30~20:00
講師 酒井俊弘補佐司教
場所 サクラ ファミリア /YouTube配信あり
主催 使徒職養成委員会
問 ☎06-6941-9700

サクラ ファミリア主催

間かせてください 神さまと出会った時のこと~エマオへの道で~◆大阪高松教区で働く司祭・修道者ご自身の体験をきく
日時 10/21(月) 18:00~19:30 (夜の部)・10/22(火) 10:30~12:00(昼の部)
お話 サムリワットゥ・スティフェン神父(徳島地区・オブレート会)

コレーン神父と学ぶ聖書◆「主日のみ言葉に生かされる」日曜日の聖書と典礼の福音書をテーマにして、共に学び、分かち合う
日時 9/9・10/7・11/11・12/9(月) 13:30~15:00(9~12月開講)

和田幹男神父◆聖書研究講座『主のしもべイエス』

日時 9/18(水) 10:30~12:00

和田幹男神父◆新約聖書ギリシア語(初級)

日時 9/9(月)・9/23(月・祝) 17:00~18:30

祈りのよる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を

日時 毎月17日 19:00~19:30

問 サクラ ファミリア ☎06-6225-8871
✉f.sacra@ostk.catholic.jp

結婚準備講座

夙川教会

日時 9/1(日)~9/22(日) 4回 14:00~15:30
参加費 ¥5,000(2名)
問 ☎0798-22-1649

六甲教会

日時 9/1(日)~9/22(日) 4回 14:00~16:00
参加費 ¥5,000(2名)
問 ☎078-851-2846
✉renraku@rokko-catholic.jp
※事前要問合せ(年2回)

黙想会

宝塚黙想の家
◆日帰り黙想会

日時 9/26(木)・9/27(金) 10:00~15:30
指導 梁野治雄神父(9/26) 山内十束神父(9/27)
参加費 ¥3,500

◆一泊黙想会
日時 9/13(金) 17:00~9/14(土) 15:30
指導 梁野治雄神父
参加費 ¥9,000

◆カトリック教会のカテキズム
日時 9/4(水) 10:00~12:00
指導 梁野治雄神父
参加費 ¥1,000

◆祈りを深めるための聖書の基本
日時 9/4(水)・9/25(水) 10:00~12:00
指導 山内十束神父
参加費 ¥1,000

問 宝塚黙想の家 ☎0797-84-3111

講座・研修会

日本カトリック障害者連絡協議会セミナー◆「能登半島地震支援」

講師 片岡義博神父(カリタスのとサポートセンター長) 大野健志氏(きょうされん常任理事・能登半島地震災害対策本部事務局長)
日時 9/28(土) 13:00~15:30
開催方法 会場とオンライン(Zoom)のハイブリッド方式 手話・要約筆記あり
場所 大阪高松大司教区 司教館1階
参加費 無料
申込 QRコード申込
フォームより 締め切り 9/14(土) 先着順 40名(会場参加)

加)・30名(オンライン参加)限定
問 力障連副会長 田中 ☎fxmichandeesu60@gmail.com

講座 本田哲郎神父◆小さくされた人々のための福音
日時 第3(金) 10:00
場所 神戸学生青年センター
参加費 ¥1,000
主催 神戸国際支縁機構
問 岩村 ☎070-5045-7127

集い

マリッジエンカウンターウィークエンド◆婚姻の秘跡を生き生きと生きる
対象 夫婦・司祭・修道者
日時 10/12(土)~10/14(月・祝)
場所 聖ヨハネ病院修道会(神戸)
参加費 自由献金
申込・問 平尾 ☎078-991-5220

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15~35歳までの若者の集い
日時 第4(土) 14:00~16:00
場所 大阪YCWセンター(またはZoom)
問 レネ神父・水元 ☎072-232-8063
✉osakaycw@gmail.com
HP http://www.ycw.jp/

要約筆記グループ「エフファク！」練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア
対象 要約筆記に関心のある方。
日時 第2(水) 13:00~15:00
場所 教区本部事務局 1階会議室
問 障がい者委員会 ☎dis@ostk.catholic.jp

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い 守秘義務と分かち合い

いつ来てもウェルカム 当日キャンセルOK
日時 第3(日) 14:00~16:00
場所 姫里集会所
参加費 無料(12月のクリスマス会だけ実費)
申込 吉川まで ☎078-583-2525
✉yassan.yoshikawa@nifty.com

力障連大阪フレンドリー◆点字部の勉強会
対象 パソコン点訳に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方
日時 第2(火) 13:30~15:00
場所 姫里集会所(奇数月) 北須磨教会(偶数月)
申込 笠松まで ☎090-5661-4324
☎072-722-0271
✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

手話に興味をお持ちの方へ◆聞こえない人も聞こえる人もボランティア会の見学にいらしてください
内容 聖書の手話表現・教区活動への手話通訳者派遣 ※手話講習会ではありません
日時 第1・3・5(水) 10:00~14:00
場所 姫里集会所
主催 教区聴覚障がい者ボランティア会
問 障がい者委員会 ☎dis@ostk.catholic.jp

マザー・テレサ共労者の集い◆大阪梅田教会
日時 第1(土) 14:00
問 高塚 ☎06-6921-0693
◆加古川教会
日時 第3(火) 13:00~14:30
問 森田 ☎079-426-5704

情報の掲載には申し込みが必要です

- 掲載無料
 - 申し込みは、掲載希望月2カ月前の末日まで(厳守)
 - 下記連絡先までご連絡ください。記入用紙をお送りします
 - 掲載の継続をご希望の場合はお知らせください
 - 締切日を過ぎての申し込みや教区報にふさわしくないと判断されたものは掲載できません
 - スペースの関係上、掲載できない場合はご連絡します
 - 編集(加筆・修正)させていただくこともございます
- 【連絡先】 ☎540-0004 大阪市中央区玉造2-24-22 カトリック大阪高松大司教区広報委員会 ☎06-6946-3223(直) ☎06-6946-3224(直) ✉kyokuho@ostk.catholic.jp

【お詫び】

8月号7面「カテキズムの学び」の講座のタイトルが違っていました。
誤)「第52回病者の塗油の秘跡」
→正)「第52回叙階の秘跡(その1)」
8月号4面「平和旬間各地区活動報告」に〈阪神地区〉の記載漏れがありました。
お詫びし訂正いたします。
(広報委員会)

行事等日程

9月	
1 日	すべてのいのちを守るための月間(〜10/4迄) 被造物を大切にする世界祈願日
5 木	〔常任司教委員会〕 臨時司教総会(〜6日迄)
11 水	10時 顧問会・責任役員会
14 土	十字架称賛
15 日	祖父母と高齢者のための世界祈願日
23 月	14時 病者・障がい者とともに歩むミサ(カテドラル)
25 水	教区健康の日
29 日	世界難民移住移動者の日(献金)
10月	
3 木	〔常任司教委員会〕
7 月	ロザリオの聖母 大阪高松教区 守護聖人
9 水	10時 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会
20 日	INTERNATIONAL DAY 世界宣教の日(献金)
27 日	教区典礼研修会

9月司教予定

- ・9/8 桜町教会堅信式(†S)
 - ・9/14 「見よ、それはきわめてよかった」発刊記念講演会
 - ・9/22 住吉教会堅信式(†S)
 - ・9/23 病者・障がい者とともに歩むミサ(†M・†S)
 - ・9/28 力障連研修会(†M)
- †M=前田万葉大司教
†S=酒井俊弘補佐司教

私が洗礼を受けてもう55年を過ぎましたが、今までどの教会に居ても神父様が居ない教会はありませんでした。いつ、訪問をしても暖かく迎えてくださり、色々と相談にも乗っていただいたり、遊びに連れて行ってくださったり楽しい思い出が蘇ります。私も年齢を重ねる中、どの教会も信者の構成が変わりつつあります。一般社会と同様に、教会においても少子高齢化の波にのまれて防ぎようのない現実です。それと並行して、神父様も高齢化する中、どこも司祭不足で巡回教会になっていくところが多く、仕方のない事と諦めるべきか、司祭が不在の教会で日曜日のごミサだけに与っていただく良いのか、考えさせられます。子どもの時は親に連れられて熱心に教会に来ていた子どもたちも、中学生になれば、塾だ、部活だど忙しくなり、教会から遠のきます。宗教離れをした檀家を抱えるお寺の住職も同じ悩みを抱えていると聞きます。このままで良いのでしょうか。

香川地区 太田 修

ほばたき

リスナーの方 募集中! 小さきテレジアの会

「大阪高松教区報」を音訳し、データCDに録音して、大阪高松教区の視覚障害者の方々にお送りしています。データCDは、プレストーク・パソコン・MP3対応のCDラジカセで聞くことができます。

音訳というのは、一般に認識されている朗読とは、すこし違います。書かれている内容を正確に、あまり感情をこめすぎずに、ニュースを読むアナウンサーのイメージです。

問合せ 夙川教会小さきテレジアの会
☎ 0798-22-1649
Fax 0798-34-3585
担当: 音訳(ティザー)山口